

平取町国民健康保険病院 改築事業

提案者(事業者)	北海道平取町長
設計者	株式会社石本建築事務所札幌支所
施工者	西松・日新特定建設工事共同企業体
建設地	北海道沙流郡平取町本町 67 番地 1

竣工済につき
簡略版としています

竣工済

提案の 概要



A. プロジェクト全体の概要

- 平取町総合計画に基づく国保病院の機能充実と経営安定化に向けた改築計画。
- 国保病院は築後 50 年経過、新病院に対する町民の期待は大きい。
- 木材生産地として可能な限り木材を活用することで、地産地消に加え、木造化・木質化による療養環境の向上と治癒効果が期待される。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 『医療の持続性に配慮したハイブリッド型木造病院』（サブテーマ：療養・癒し効果を高める病室の木質化）。
- 木造化：病院（3,000㎡以下）の 50.58%を木造化（RC とのハイブリッド構造）し、合理的な木造化を計画。
- （木質化：共用部分の木質化に加え、病室（救急・感染病室以外）の木質化を計画）。

C. 提案のアピールポイント

- 木造化：対水平力
RC 造とのハイブリッド構造の採用で、近年の病院建築計画（木造部分を RC 造と同じ 6m グリッドとすることで、将来の変化にも対応できる）を可能とし、計画病院の機能性・可変性に加え、経済性も実現できる。
- 木造化：対鉛直力
RC 床（デッキプレート併用）との合成梁効果検証で梁の経済的な設計が可能（特に撓み）となる。汎用面では、大梁の合成効果は対水平力にも寄与することから、木材利用促進にも貢献できる。

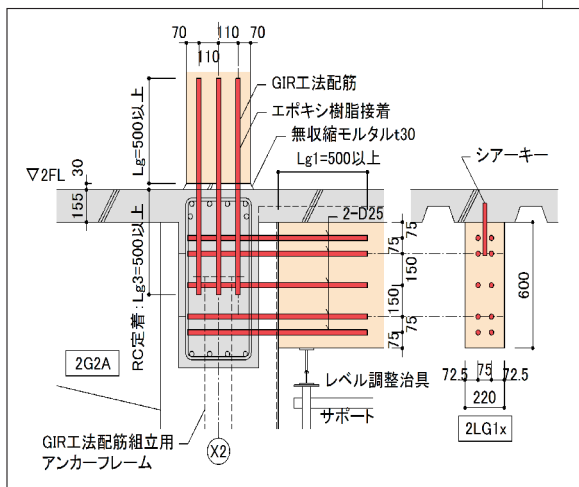
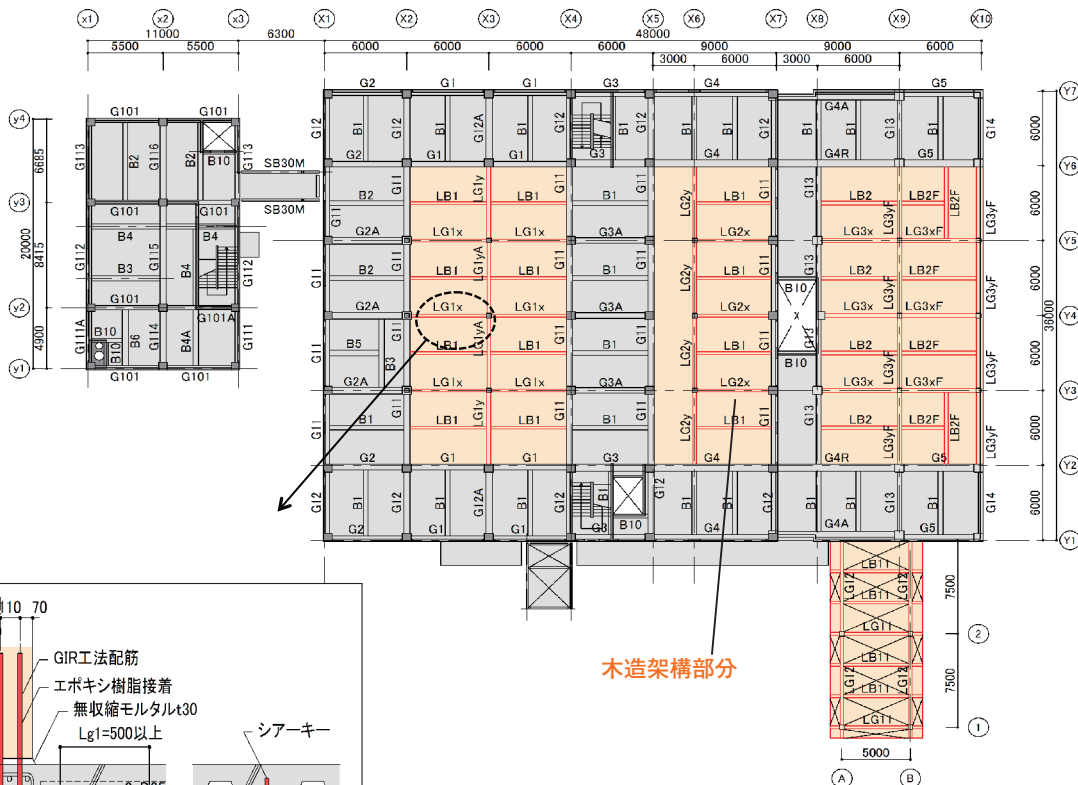


南側からのエントランス側外観

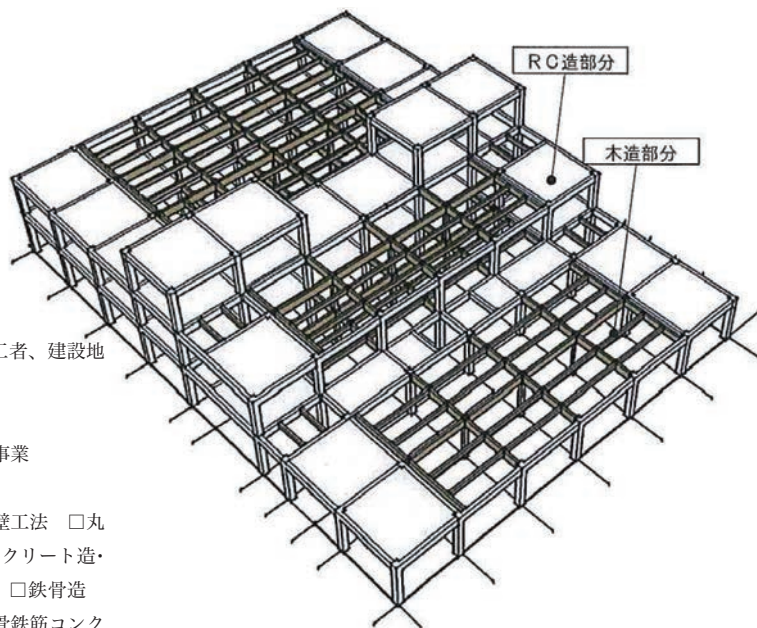
評価の ポイント



築後 50 年を経過した国保病院の機能充実と経営安定化に向けた改築プロジェクト。新病院に対して、町民から大きな期待が寄せられている。RC 造と木造軸組工法による平面混構造で、長期荷重を木造部分に、水平力を RC 造部分に負担させ、全体として躯体の低コスト化を実現。また、シアキー貫通打ち工法による RC 床（デッキプレート併用）と大断面集成材の合成梁、RC 柱と集成材の GIR 工法（接合金物を内蔵するもの）による接合方法を用いた RC 造と木造の同時施工などの工夫がある。材料面では、大断面集成材は平取町産木材を 100%活用しているとともに、木質化についても北海道産木材を活用している。寒冷地の病院木造化におけるモデルケースとして期待できる。



RC 架構と木造架構の接合部詳細



本館木造化のイメージ

プロジェクト
データ

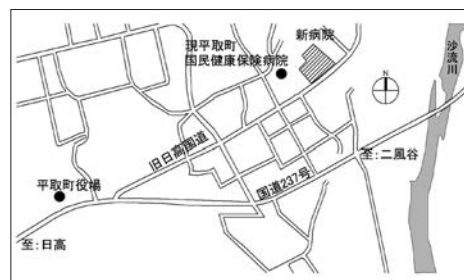


提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は
扉頁参照

- 建物名称：平取町国民健康保険病院改築事業
 主要用途：病院・診療所
 主要構造：■木造（□軸組構法 □柱組壁工法 □丸太組構法 ■その他（鉄筋コンクリート造・木造軸組工法による混構造） □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他
 防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 □法22条区域 ■その他の地域
 耐火建築物等の要件：□耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） ■準耐火建築物（45分耐火） □その他の建築物

敷地面積：6,384.39㎡
 建築面積：2,123.67㎡
 延べ面積：3,447.59㎡
 軒 高：8.15m
 最高の高さ：8.75m
 階 数：地上2階

事業期間：平成 28 年度～ 30 年度
 補助対象事業費：377,731 千円
 補助限度額：59,500 千円





1階ロビー・待合



全景俯瞰写真



ダイニングルーム



4床室